British Society of Gerontologyに出席して (学会参加報告記)

A Report on Experience of Attendance of British Society of Gerontology

千葉 昌樹*1 黄 京性*2

Masaki Chiba, Kyungsung Hwang

キーワード:危機管理、災害、栄養、食生活

Key words: Crisis management, Disaster, Nutrition, Eating habits

^{*1} 札幌保健医療大学保健医療学部栄養学科 Department of Nutriton, School of Health Sciences, Sapporo University of Health Sciences

^{*2} 名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科 Department of Social Welfare, Faculty of Health and Welfare Science, Nayoro City University

2018年7月4日から7日の4日間の日程 で開催された British Society of Gerontology 47th Annual Conference, Manchester, United Kingdom に名寄市立大学保健福祉学部社会 福祉学科教授 黄 京性先生と一緒に出席し てきました。この"英国老年学学会"は、1971 年に設立され、高齢者の現状や課題に興味 を持つ研究者などの人々のために多分野の フォーラムを提供しており、高齢者の健康と 福祉、社会参加、衣・食・住とそれに係わる 条件整備、メンタルケアなどを広く守備範囲 とした研究分野で構成されています。1971 年から1979年までは、イギリスにおける老 年学の社会的および行動的老年学分野として 知られていました。近年は、イギリス国内は もとより、国際老年学会のメンバーとしても 位置づけられています。

今年は、イギリスのマンチェスターにある The University of Manchester で開催され、私 が発表する Poster Session は、「東北地方太 平洋沿岸に居住する一般家庭の東日本大震災 前後における非常食の現状と課題」と題し て、平成23年3月11日14時46分、日本の太 平洋三陸沖を震源として起こった東日本大震 災について発表しました。この地震は皆様 もご存じの通り、巨大津波や余震が起こり、 死者19,475人、行方不明者2,587人、負傷者 6,221人にも及ぶ大震災となり、液状化現象、 地盤沈下、ダムの決壊などによって、北海道 から東北を経て関東に至る広大な範囲で被害 が発生しました。ライフラインや交通網が寸 断され、食料の供給・摂取が困難な状況に陥 りました。震災の被害が最も大きかった東北 地方では、電気・ガス・水道がストップし、 行政機関が機能を失うほどの被害に遭いまし た。また、津波や崩落等の影響による交通機 関のマヒが続いたことにより、被災地域への 食料などの物資の搬入が、大きく滞ってしま いました。このことから、高齢者を含む災害 時要配慮者に対する危機管理時の栄養・食生 活のあり方について検討を行うこととし、審 査の結果、主催者からは次のとおり学会参加 の通知を受けました。

Dear Professo Masaki Chiba,

Congratulations! I am pleased to inform you that "Current situation and challenges of general household eating habits in the Great East Japan Earthquake" has been accepted for Poster presentation at British Society of Gerontology 47th Annual Conference - Ageing in an Unequal World: Shaping Environments for the 21st Century.

Session details, date and time are as follows: Poster Session, 04-07-2018, 15:30····· Kind regards

ターは、人



マンチェスター市街地

口220万人を超える都市でイングランドの北 西部に位置します。さすがに産業革命では中 心的役割を果たしていたところで、街並みは 歴史を感じさせ、大変整っております。この



The University of Manchester (著者)

度の会場となったマンチェスター大学やマン チェスターメトロポリタン大学など多くの高 等教育機関がそろっています。



BSG Welcome Ceremony

ポスターセッションは、学会1日目の15:30からです。学会の窓口で受付を済ませて会場に向かいます。この度は、食文化が大きく違うイギリスでの発表のため、備蓄食品などを会場に持ち込みました。会場での準備が終わったので、Welcome Ceremony に参加しました。このセレモニーは、大会責任者である Professor Debora Price のあいさつから始まりました。

次に、ポスターの会場に移動して、いよい よセッションの始まりです。今回発表のテー マでもある自然災害について、イギリスでの 発生状況を調べてみますと、日本と比べて圧 倒的に少なく、台風や熱波、寒波による被害 は、最近では2013年に起きたイギリスとア イルランドの熱波があり、イギリス国内で 34.1℃まで達したという記録があります。地 震では1931年に北海のドッガーバンクでマ グニチュード6.1の地震を記録しており、こ の時は小さな津波も起きています。このよう に大きな地震や津波は少なく、他の事象を鑑 みても、イギリスは自然災害が少ない国であ ることが分かります。これらのことからポス ターを掲示してのセションに加えて、新たに 防災用備蓄食品の試食も行う内容で進めるこ ととしました。

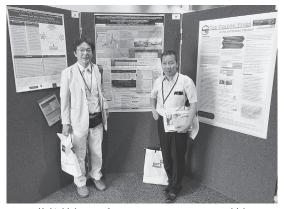
ポスターセッションが始まり、多くの方々が興味深く見てくださいました。さすがにイギリスのポスターセッションは、アフタヌー

ン・ティーと一緒になっており、立食ながら 紅茶やお菓子を手に取りポスターセッション を行うスタイルでした。また、参加者の中 には、ネパールのカトマンズから来ている 留学生の参加者もおられ、2015年4月25日 11時56分にネパールの首都カトマンズで起 きた地震のことを思い出して真剣に見てくだ さっていました。イギリス国内の方々は、や はり想像することが難しいようで、想定の中 での質疑応答になりました。さらに続けて用 意したバランス栄養調整食品の試食を行いま した。ブロックタイプの栄養調整食品は、イ



学会参加者への説明

りは余り良いものではないようでした。これは、我々日本人がお米に対して味にうるさいことと同じように、ブロックタイプの栄養調整食品は、ショートブレッドと同じ形状であるが故に期待するものも大きいようでした。感想を聞くと、"何とか食べられる"との話でした。アルファー米の試食は行いません



著者(左)、Professor Kyungsung Hwang(右)

でしたが、プレゼントは好評でした。終盤に 大会責任者の Professor Debora Price 先生が みえられ、お話をしました。先生曰く、この 度発表された災害分野は、この学会にとって 新しい分野であり、今後の研究が望まれると の言葉をいただきました。今回の学会では少 しではありますが、イギリスの食文化を垣間 見ることができました。災害時に日本で行わ れている"炊き出し"はイギリスでは、"Soup" と呼ばれ、調理しているところは、"Soup kitchen"といわれていることや備蓄食品の代 表である"乾パン"は、もともとイギリス海軍 が発祥であり、"Hardtack"といわれているこ となど、学ぶことがたくさんありました。

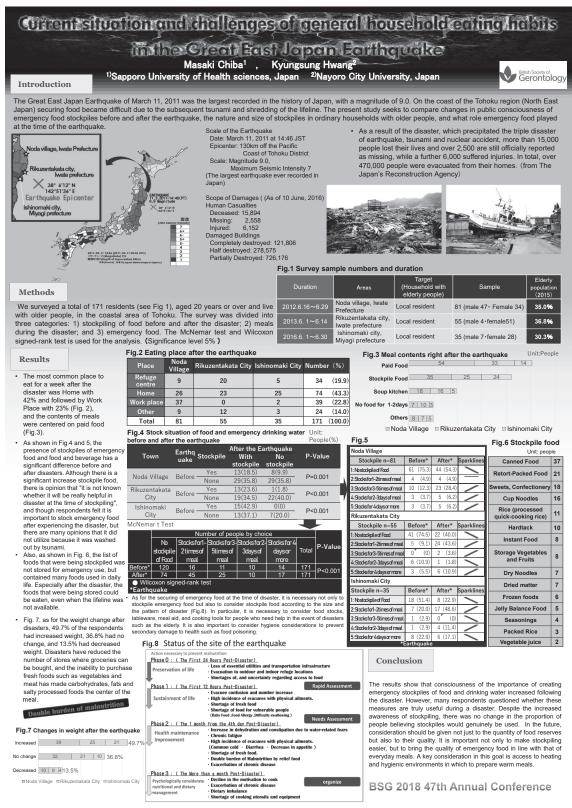


図1 学会発表データ